

平成28年度  
地方創生に関する事業実績

平成29年7月25日

西予市総務企画部総合政策課

## 事業一覧

事業区分	分野	プロジェクト名	事務事業名	ページ番号
加速化交付金事業	まち	磨けジオの原石！「ジオの至宝」ブランディング事業	ジオブランド推進事業 (ジオパーク推進室)	1
	まち		ジオブランド推進事業 (経済振興課)	2
	まち	世界最高品質シルク 伝統「伊予生糸」プロジェクト	伊予生糸推進事業	3
推進交付金事業	まち	官民連携による既存施設等を活用した 西予の商いづくりプロジェクト	都市計画管理策定事業	4
	しごと		経済振興資金供給モデル事業	5
	まち		南予地区官民連携 事業承継推進事業	6
	ひと		米博物館リノベーション事業	7
	しごと	更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創 生実現化事業【県連携事業】	各種大会補助事業	8
	しごと		観光協会運営事業（本会）	9

# 地方創生 加速化交付金

## 地方創生加速化交付金事業に係る事業実施結果報告【1ページ】

事務事業の名称	ジオブランド推進事業（ジオパーク推進室）		事業担当課	総務企画部
交付対象事業の名称	磨けジオの原石！「ジオの至宝」ブランディング事業			ジオパーク推進室
事業期間	平成 28 年 6 月 ～ 平成 29 年 3 月		事業費	7,280,270 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	項目	まちの創生 ジオパーク	(うち国費)	7,280,270 円
	ページ番号	97～100ページ	(うち市費)	0 円

### 事業の概要

#### ■ 事業内容

西予市及び市産品等のイメージアップを図るために、ジオの至宝ブランド推進体制の確立、及び市独自の取り組みであるジオパークと音楽の融合に取り組んだ。コンテンツの充実を図るため、インターネット上で音楽コンテスト、動画コンテストを開催した。またジオブランドなどの商品を紹介するwebサイトの構築を行った。

#### ■ 事業費内訳

	金額 (円)
○ ジオミュージック事業	6,470,270
○ ジオの至宝専用webサイトの構築	810,000
(主な事業経費)	
・ 審査員報酬	
・ 動画コンテスト委託料	

### 事業の実績・取組状況

#### ■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

	指標値(H29.3)	H29.3時点	達成率
① 認定ブランド産品数	5品	4品	80.0%
② 市関与の新規販路拡大金額 (累計)	10,000千円	-	-
③ メディアへの掲載件数 (累計)	50件	2,149件	4298.0%
④			

#### ■ 取組内容

- 第2回四国西予ジオパークミュージックコンテストの開催
- ジオミュージックを活用した動画コンテストの開催
- 四国西予ジオパークの認定ブランド「四国西予ジオの至宝」の誕生

#### ■ 写真等

- ①ミュージック・動画コンテスト      ②四国西予ジオの至宝

#### ■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる(拡充)	○
②事業内容の見直し(改善)	—
③事業の継続(現行)	—
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—



#### ■ 事業方針の理由

本事業により良質なPR素材が多く集まったことから、そのコンテンツを活用した事業展開を図ってきたい。また、ジオの至宝認定品を増加させ、ブランディング、販路拡大及びその支援策を強化してきたい。

### 事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	○		
③地方創生に効果があった	—	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果がなかった	—		

#### ■ 外部有識者からの意見

- ・ ジオミュージックオーディオ機器のレンタル件数が少ないようだ。浸透させるためにも、話題性とミュージックを目的とする観光者が増えるようPR方法を検討しては。SNSによる広まりにも期待したい。
- ・ オーディオ機器の返却が市内1カ所のみ。各拠点施設と連携した貸出・情報提供を積極艇に行っていただきたい。

## 地方創生加速化交付金事業に係る事業実施結果報告【2ページ】

事務事業の名称	ジオブランド推進事業（経済振興課）	事業担当課	産業建設部
交付対象事業の名称	磨けジオの原石！「ジオの至宝」ブランディング事業		経済振興課
事業期間	平成 28 年 6 月 ～ 平成 29 年 3 月	事業費	21,078,832 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	項目	まちの創生 ジオパーク	(うち国費) 21,078,832 円
	ページ番号	97～100ページ	(うち市費) 0 円

### 事業の概要

#### ■ 事業内容

西予市及び市産品等のイメージアップを図るために、ジオの至宝ブランド推進体制の確立、商品デザイン、パッケージ開発支援、ブランド素材商品化支援、統一イメージによる販路拡大、また、レシピ開発事業や西予市産のオリジナルニューを振舞うジオカフェや、マルシェ等への出展等のジオワゴンの取り組みを行った。

#### ■ 事業費内訳

○ 市産品の販路開拓事業  
(主な事業経費)

- ・ 商談会の会場借り上げ料
- ・ 商談会に必要な食材購入費

金額 (円)

21,078,832

### 事業の実績・取組状況

#### ■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

	指標値(H29.3)	H29.3時点	達成率
① 認定ブランド産品数	5品	4品	80.0%
② 市関与の新規販路拡大金額 (累計)	10,000千円	23,340千円	233.4%
③ メディアへの掲載件数 (累計)	50件	11件	22.0%
④			

#### ■ 取組内容

- 首都圏・関西圏での展示商談会、商談即売会（6回/年）
- ブランディング・販路開拓のための物販会参加
- ジオを恵みPR事業の開催
- facebookによる情報提供

#### ■ 写真等

① 商談会の様子



② ジオの恵みPR



#### ■ 今後の事業方針

① 追加等更に発展させる (拡充)	○
② 事業内容の見直し (改善)	—
③ 事業の継続 (現行)	—
④ 事業の中止	—
⑤ 予定通り事業終了	—

#### ■ 事業方針の理由

マッチングに特化し、販路拡大も指標以上となっている。継続・拡大して市産品のブランディング・販路拡大を図る。



### 事業評価

① 地方創生に非常に効果的であった	—	① 総合戦略のKPI達成に有効であった	○
② 地方創生に相当程度効果があった	○		
③ 地方創生に効果があった	—	② 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④ 地方創生に効果がなかった	—		

#### ■ 外部有識者からの意見

- ・ 専用webサイトが作成されたが、市公式HPでの紹介がない。市公式HPにバナーを設ける、時間差のない情報発信、SNS掲載等、効果的な発信をしていただきたい。
- ・ 都市部向けの商談会等が多いが、地元産品が地元で理解されているか疑問。瀬戸内圏内での商談会を行うなど検討をいただきたい。

## 地方創生加速化交付金事業に係る事業実施結果報告【3ページ】

事務事業の名称	伊予生糸推進事業	事業担当課	産業建設部
交付対象事業の名称	世界最高品質シルク 伝統「伊予生糸」プロジェクト		農業水産課
事業期間	平成 28 年 6 月 ~ 平成 29 年 3 月	事業費	7,339,716 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	項目	まちの創生 ジオパーク	(うち国費) 7,339,716 円
	ページ番号	97~100ページ	(うち市費) 0 円

### 事業の概要

#### ■ 事業内容

伊予生糸の知名度が広く普及することにより、世界的な品質水準が認められ、稼ぐ農業品種として養蚕業が復活し、就農者の増加による西予の地方創生を実現するため、シルク製品のもととなる伊予生糸の認知度上昇、認知度の上昇による取引企業の増加、伊予生糸の需要増加による生産量の増加などを図る。

#### ■ 事業費内訳

金額 (円)

○ 世界最高品質シルク 伝統「伊予生糸」プロジェクト 7,339,716

#### (主な事業経費)

- ・伊予生糸メダル帯試作委託料
- ・旧稚蚕飼育所屋根改修補助金

### 事業の実績・取組状況

#### ■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

	指標値(H29.3)	H29.3時点	達成率
① 新規養蚕農家数 (平成27年度末：0戸)	1戸	2戸	200.0%
② 繭生産量 (平成27年度末：1.27t)	1.3t	1.4t	107.7%
③ 生糸生産量 (平成27年度末：220kg)	230kg	250kg	108.7%
④			

#### ■ 取組内容

- 旧稚蚕飼育所屋根改修
- 伊予生糸メダル帯試作作品作成・メダル作成
- 養蚕業PRビデオ作成

#### ■ 写真等

①旧稚蚕飼育所屋根改修



②メダル帯・メダル作成



#### ■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる(拡充)	—
②事業内容の見直し(改善)	—
③事業の継続(現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

#### ■ 事業方針の理由

今後、旧稚蚕飼育所を養蚕研修施設として開設し、新規養蚕農家への研修施設の場として活用していく。

### 事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	○		
③地方創生に効果があった	—	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果がなかった	—		

#### ■ 外部有識者からの意見

- ・群馬県は教育とからめて養蚕振興を行っているのので、参考にしていきたい。
- ・若い新規生産者にとって、養蚕ですぐに生計を立てることは困難。1、2年間の程度の経営・生活支援も検討できれば、意欲のある若者が育つし離農も防げる。

# 地方創生 推進交付金

# 地方創生推進交付金事業 平成28年度実績報告

交付対象事業の名称	官民連携による既存施設等を活用した西予の商いづくりプロジェクト		
事業分野(大項目)	まちの創生	総事業費(H28年度分)	¥33,961,100
事業実施期間	3年間	交付金充当額	¥16,980,550

## 1 目指す将来像

平成27年度国勢調査では、38,927人と5年間で3,151人、7.5%の人口が減少し空き店舗や空き家が目立つようになってきている。事業経営者に目を向けると高齢化が進行し経営を引き継ぐ後継者が見つけにくい状況にあり、廃業を検討する事業者についても増加傾向にあることから、更なる空き店舗が発生するおそれがある。

この状況を打開するため、コンパクトにまとまったまちに賑わいが生まれ、人の交流による新しいアイデアから空き店舗を活用した新しい仕事が継続的に誕生し、更なるまちの賑わいと人の交流促進といった好循環スパイラルの発生を目指す。さらに、副次的な効果として、地域の知名度が向上することと交流拡大による地域商品の販売力拡大をも目指す。

## 2 事業の概要

コンパクトに集約されたまちには賑わいが生まれ、都市部との人の交流が進むことによって、市の知名度向上とまちの稼ぐ力を上昇させ、経済の好循環から西予市中心部への転入者が増加する未来を描く。

《ストーリー》

1. まちの未来を予想したまちづくり計画の策定《まちの創出》
2. まちの賑わいを構成する「しごとづくり」に向けた取り組み《しごとの創出》
3. 大学等と連携したインキュベーション施設での人材育成と交流の拡大《ひとの創出》

これらが、相互に連携し住んでみたいまち・稼げるまちとして、交流人口の拡大と人口の流入を促進させる。

## 3 重要業績評価指標(KPI)

	指標値	H29.3 時点	達成率
① 居住誘導区域への転入者増加数(現状339人)	+10人	+31人	310.0%
② 創業支援・事業承継等による空き家・空き店舗等の活用件数(件)	1件	2件	200.0%
③ インキュベーション施設を利用した延人数(人)	100人	267人	267.0%

## 4 平成28年度における位置づけ

西予市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、当市の地方創生を実現するため一番の課題となっている人口減少問題に対して、しごとによるまちの賑わいづくりの面からアプローチをする。1年目は、事業全体のベースとなる計画策定のための基礎調査の年と位置付け、コンパクトにまとまったまちの賑わい創出を目指した住民組織の結成とまちの将来像に関する基礎調査及び解析を行う。並行して、起業創業を行うためのインキュベーション施設の整備と創業資金面での支援を行い、事業承継のための後継者支援策を展開し、次年度の取り組みにつなげる。

## 5 事業担当課

事務事業名	概要	担当課	事業費	
			総事業費	交付金
都市計画管理策定事業	立地適正化計画の策定と有識者会議の開催	建設課	¥15,397,100	¥7,698,550
経済振興資金供給モデル事業	創業希望者を金融機関と連携して資金面で支援	経済振興課	¥6,900,000	¥3,450,000
南予地区官民連携事業承継推進事業	事業承継を希望する事業者と後継希望者のマッチングを支援	経済振興課	¥0	¥0
米博物館リノベーション事業	インキュベーション施設整備と指定管理者による施設の運営	経済振興課	¥11,664,000	¥5,832,000

## 6 外部有識者からの意見(全体)

- ・プロジェクトを構成する各事業に対する意見、評価内容は別紙のとおり。
- ・KPのインキュベーション施設とはどういったものか、横文字ではなく市民に分かりやすい言葉や表現にしていきたい。
- ・情報の取り方、出し方、戦略の立て方について工夫ある仕組みづくりが重要である。

# 地方創生推進交付金事業 平成28年度実績報告

交付対象事業の名称	更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業（県連携）		
事業分野（大項目）	しごとの創生	総事業費（H28年度分）	¥578,900
事業実施期間	5年間	交付金充当額	¥289,450

## 1 目指す将来像

県全体を挙げて「自転車新文化」を推進し、本県の各市町が持っている豊かな観光資源をフル活用して、誰でも安全で楽しくサイクリングに親しむことができる環境を整備することで、国内外からの訪問者を増加させ、宿泊・飲食・体験（アクティビティ、グリーンツーリズム等）の需要拡大による地域の活性化につながるとともに、多くの人に本県の魅力を知ってもらうことで移住にもつなげる。

## 2 事業の概要

サイクリングを通じて親密な友好関係にある台湾との交流促進を図り、ヒト・モノの更なる交流拡大に結び付ける。  
 なお、県は、県全体としての自転車新文化の推進を図るため、各市町と連携・協力して、国内外でのPRや大規模イベントなどを主体的に行うほか、市町間における取組みの調整役も担い、各市町は県や他の市町の取組みを連携した自らの地域にあるコンテンツを活用したヒトの呼び込みを図ることとしている。

## 3 重要業績評価指標（KPI）

	指標値	H29.3 時点	達成率
① 観光入込客数（総数・千人）（平成27年：27,085千人）	+383千人	+370千人	96.6%
② 観光客消費額（億円）（平成27年：1,101億円）	+19.8億円	+6.0億円	30.3%
③ サイクリングガイドの養成人数（人）	20人	21人	105.0%

## 4 平成28年度における位置づけ

平成27年10月に策定した「愛媛県版まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げる目標を実現するため、本格的に取り組む初年度であり、外国人観光客をはじめとした交流人口の更なる拡大を図っていくための基盤づくりとなる重要な年度である。  
 このため、県の自主財源による基盤整備（ブルーラインをはじめとした道路環境の整備や推進団体の創設など）を整える予定であるほか、広島県等と連携し、瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2016」を開催し、交流人口の拡大を図る。  
 また、県内20市町においては、県と連携して「自転車新文化」の推進を図り、国内外からの誘客促進による地域経済の活性化につなげていく。

## 5 事業担当課

事務事業名	概要	担当課	事業費	
			総事業費	交付金
各種大会補助事業	西予市自転車教室補助金	文化体育振興課	¥500,000	¥250,000
観光協会運営事業（本会）	サイクリングin四国西予ジオパークイベント負担金	経済振興課	¥78,900	¥39,450

## 6 外部有識者からの意見

- ・プロジェクトを構成する各事業に対する意見、評価内容は別紙のとおり。
- ・県との連携を深めて実施する中で、道路整備等も検討していただきたい。

地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告【4ページ】

事務事業の名称	都市計画管理策定事業		事業担当課	産業建設部
交付対象事業の名称	官民連携による既存施設等を活用した西予の商いづくりプロジェクト			建設課
事業期間	平成 28 年 7 月 ~ 平成 29 年 3 月		事業費	15,397,100 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	項目	まちの創生 まちデザイン	(うち国費)	7,698,550 円
	ページ番号	101~104ページ	(うち市費)	7,698,550 円

事業の概要

<b>■ 事業内容</b> コンパクトに集約されたまちには賑わいが生まれ、都市部との人の交流が進むことによって、市の知名度向上とまちの稼ぐ力が上昇する。これらの好循環から西予市中心部への転入者が増加する未来を描くことを目標に、コンパクトシティ計画等の策定を行う。	<b>■ 事業費内訳</b> ○ 都市計画管理策定事業 (主な事業経費) ・コンパクトシティ計画委託料 ・未来予想図円卓会議運営委託料	金額 (円) 15,397,100
--	---	----------------------

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)	指標値(H29.3)	H29.3時点	達成率
① 居住誘導区域への転入者増加数 (現状339人)	+10人	+31人	310.0%
② 創業支援・事業承継等による空き家・空き店舗等の活用件数 (件)	1件	-	-
③ インキュベーション施設を利用した延人数 (人)	100人	-	-
④			

- 取組内容**
- 未来予想図円卓会議開催 有識者 2回職員 1回地域おこし協力隊 1回
  - コンパクトシティ計画検討委員会 外部有識者 2回 庁内 1回

■ 写真等

① 都市計画マス等検討委員会の様子



② 円卓会議の様子



**■ 今後の事業方針**

①追加等更に発展させる (拡充)	○
②事業内容の見直し (改善)	—
③事業の継続 (現行)	—
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	○

**■ 事業方針の理由**  
 計画策定と会議については、予定通り終了するが、未来予想図円卓会議で提案された政策を精査し、事業に発展させる。

事業評価

① 地方創生に非常に効果的であった	—	① 総合戦略のKPI達成に有効であった	○
② 地方創生に相当程度効果があった	—		
③ 地方創生に効果があった	○	② 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④ 地方創生に効果がなかった	—		

- 外部有識者からの意見**
- ・ 円卓会議の議論の内容、コンパクトシティが意味することについて、十分に分からない。どのような会議が行われているのか情報発信が必要。引き続き、若者が主体となった円卓会議を実施していただきたい。
  - ・ 各旧町の文化や地域性は大切なことだが、円卓会議等を通して、市としての連携を深めていただきたい。

## 地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告【5ページ】

事務事業の名称	経済振興資金供給モデル事業	事業担当課	産業建設部
交付対象事業の名称	官民連携による既存施設等を活用した西予の商いづくりプロジェクト		経済振興課
事業期間	平成 28 年 7 月 ~ 平成 29 年 3 月	事業費	6,900,000 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	項目	しごとの創生 産業総論	(うち国費) 3,450,000 円
	ページ番号	33~36ページ	(うち市費) 3,450,000 円

### 事業の概要

#### ■ 事業内容

市内において起業又は創業しようとする者に対し、予算の範囲内で市が西予市経済循環モデル事業資金を出資することにより、安定的な経営及び事業展開を支援し、地域経済の活性化及び雇用の創出を図り、しごとの創生を行う。

#### ■ 事業費内訳

- 経済振興資金供給モデル事業 (主な事業経費)
- ・ 出資金

金額 (円)

6,900,000

### 事業の実績・取組状況

#### ■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

① 居住誘導区域への転入者増加数 (現状339人)

指標値(H29.3)

+10人

H29.3時点

-

達成率

-

② 創業支援・事業承継等による空き家・空き店舗等の活用件数 (件)

1件

2件

200.0%

③ インキュベーション施設を利用した延人数 (人)

100人

-

-

④

#### ■ 取組内容

- 西予市経済循環モデル事業出資審査委員会 開催 2回
- 関係者ヒアリング 2~30回

#### ■ 写真等

① 西予市経済循環モデル事業出資決定通知交付式の様子



#### ■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる (拡充)	—
②事業内容の見直し (改善)	—
③事業の継続 (現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

#### ■ 事業方針の理由

5ヶ年実施の計画であり、1ヶ年目に2件の成果が上がった。残り4ヶ年は継続実施する。

### 事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果がなかった	—		

#### ■ 外部有識者からの意見

- ・ 創業後、地盤が落ち着くまで2年はかかる。銀行だけではなく、行政側からも創業後のアドバイスやフォローを行っていただきたい。
- ・ 単年度で結果や評価をしにくい事業だが、創業希望の動きがあるので継続されることに期待したい。

## 地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告【6ページ】

事務事業の名称	南予地区官民連携事業承継推進事業	事業担当課	産業建設部
交付対象事業の名称	官民連携による既存施設等を活用した西予の商いづくりプロジェクト		経済振興課
事業期間	平成 28 年 7 月 ~ 平成 29 年 3 月	事業費	0 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	項目	（うち国費）	0 円
	ページ番号	（うち市費）	0 円
			93~96ページ

### 事業の概要

<b>■ 事業内容</b> 南予 4 市 5 町が事業主体となり、事業継承困難による廃業等リスクがある企業等を対象に、人材紹介会社や商工会等と連携し、全国から経営者候補を募集・マッチング等を行い、U I J ターンや経営革新を促進する。	<b>■ 事業費内訳</b>	金額 (円) 0
---	----------------	-------------

### 事業の実績・取組状況

<b>■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)</b>	指標値(H29.3)	H29.3時点	達成率
① 居住誘導区域への転入者増加数 (現状339人)	+10人	-	-
② 創業支援・事業承継等による空き家・空き店舗等の活用件数 (件)	1件	0	0.0%
③ インキュベーション施設を利用した延人数 (人)	100人	-	-
④			

- 取組内容**
- 西予市事業承継推進ラウンドテーブル組成 開催 1 回
  - 西予市事業承継推進計画の策定
  - 西予市事業承継推進計画に基づく事業所訪問
  - 県主催：中小企業事業承継セミナー協力 (会場：西予市)

**■ 今後の事業方針**

①追加等更に発展させる (拡充)	—
②事業内容の見直し (改善)	○
③事業の継続 (現行)	—
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

**■ 事業方針の理由**  
 非常に成果が出にくい取り組みであるが、南予 4 市 5 町の足並みを揃え継続した取り組みを実施する。H29から事業承継を見据えた持続可能な店舗改装に係るリフォーム補助金を追加。

### 事業承継支援に本腰

廃業防止め後継者マッチング



### 事業評価

① 地方創生に非常に効果的であった	—	① 総合戦略のKPI達成に有効であった	—
② 地方創生に相当程度効果があった	—		
③ 地方創生に効果があった	○	② 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	○
④ 地方創生に効果が無かった	—		

- 外部有識者からの意見**
- ・ 金融機関が持つ顧客情報を共有することは難しい。地元の税理士等と連携するなど新たな仕組みづくりを検討していただきたい。
  - ・ 行政側からのアンケート等だけでなく、事業承継困難事業者が主体的に手を挙げられるような仕組みづくりを検討していただきたい。
  - ・ 引き継ぎ意欲のある人からのマッチングも検討しては。酒屋等、“今しかない”ノウハウが残っている。
  - ・ 「KPI達成に有効とは言えない」にチェックがあるが、有効な事業にする必要がある。

## 地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告【7ページ】

事務事業の名称	米博物館リノベーション事業	事業担当課	産業建設部
交付対象事業の名称	官民連携による既存施設等を活用した西予の商いづくりプロジェクト		経済振興課
事業期間	平成 28 年 7 月 ~ 平成 29 年 3 月	事業費	11,664,000 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	項目	まちの創生 移住・定住・安住	(うち国費) 5,832,000 円
	ページ番号	75~78ページ	(うち市費) 5,832,000 円

### 事業の概要

#### ■ 事業内容

大学等と連携したコワーキング、インキュベーション施設とすることで、将来的には大学の研究室を誘致し、更なる人的交流の拡大と仕事の創生を目指す。大学側には、地域における共同研究スペースが確保でき、フィールドワークの活動拠点や、サテライトオフィスとしての活用が図る。

#### ■ 事業費内訳

- 米博物館リノベーション事業 (主な事業経費)
- ・ 工事請負費

金額 (円)

11,664,000

### 事業の実績・取組状況

#### ■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

	指標値(H29.3)	H29.3時点	達成率
① 居住誘導区域への転入者増加数 (現状339人)	+10人	-	-
② 創業支援・事業承継等による空き家・空き店舗等の活用件数 (件)	1件	-	-
③ インキュベーション施設を利用した延人数 (人)	100人	267人	267.0%
④			

#### ■ 取組内容

- カフェを活用したカフェ起業家の育成セミナー
- 愛媛COC公開講座の開催 (サテライトオフィスを活用した仕事づくり)
- 異業種交流会の開催
- 西予市未来円卓会議の開催

#### ■ 写真等

① カフェセミナーの様子



② 愛媛大学公開講座の様子



#### ■ 今後の事業方針

① 追加等更に発展させる (拡充)	—
② 事業内容の見直し (改善)	—
③ 事業の継続 (現行)	○
④ 事業の中止	—
⑤ 予定通り事業終了	—

#### ■ 事業方針の理由

リノベーション工事後にPRイベントも兼ねてインキュベーション施設としてPRを行うことができた。PR事業も継続しつつ、H29年度からは指定管理者によりさらに利用者増を図っていく。



### 事業評価

① 地方創生に非常に効果的であった	—	① 総合戦略のKPI達成に有効であった	○
② 地方創生に相当程度効果があった	○		
③ 地方創生に効果があった	—	② 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④ 地方創生に効果がなかった	—		

#### ■ 外部有識者からの意見

- ・ リノベーションを行った目的を再度確認し、地方創生とのつながりを市民にも分かりやすくすることが必要と思われる。
- ・ イベントが開催されているがポスター掲示を積極的に行う等、情報発信の仕組みを再度検討してはいかかが。

地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告【県連携事業】 【8ページ】

事務事業の名称	各種大会補助事業	事業担当課	教育部
交付対象事業の名称	更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業（県連携）		文化体育振興課
事業期間	平成 28 年 7 月 ～ 平成 29 年 3 月	事業費	500,000 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	項目	しごとの創生	(うち国費) 250,000 円
	ページ番号	—	(うち市費) 250,000 円

事業の概要

■ 事業内容

本県が推進している「自転車新文化」について、これまで基礎づくりが中心であった取組みを深化させ、より大きな消費行動が期待できる一般層（ファミリー層）まで裾野を拡大するとともに、国内外からの誘客による交流人口の増加を図ることで、将来的には国内外で「サイクリングパラダイス愛媛」の認知度を向上させ、地域経済の活性化につなげる。

■ 事業費内訳

○ 各種大会補助事業

(主な事業経費)

・ 西予市自転車教室補助金

金額 (円)

500,000

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数 (KPI)

	指標値(H29.3)	H29.3時点	達成率
① 観光入込客数 (総数・千人) (平成27年: 27,085千人)	+ 383千人	+370千人	96.6%
② 観光客消費額 (億円) (平成27年: 1,101億円)	+ 19.8億円	+6億円	30.3%
③ サイクリングガイドの養成人数 (人)	20人	21人	105.0%
④			

■ 取組内容

- サイクリング普及のためのイベント開催
- ジオパークとサイクルツーリズムの融合
- サイクルガイドの育成

■ 写真等

■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる (拡充)	—
②事業内容の見直し (改善)	—
③事業の継続 (現行)	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

■ 事業方針の理由

今年度も同規模のサイクリングイベントを実施予定。同時にサイクルガイドの育成



事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果が無かった	—		

■ 外部有識者からの意見

・ サイクリングを楽しむ道路の整備が不十分。快適なサイクリングのために、除草作業を行っていただきたい。

地方創生推進交付金事業に係る事業実施結果報告【県連携事業】 【9ページ】

事務事業の名称	観光協会運営事業（本会）	事業担当課	産業建設部
交付対象事業の名称	更なる高みへ！自転車新文化の推進による愛媛の地方創生実現化事業（県連携）		経済振興課
事業期間	平成 28 年 7 月 ～ 平成 29 年 3 月	事業費	78,900 円
まち・ひと・しごと創生総合戦略への記載	項目	しごとの創生	(うち国費) 39,450 円
	ページ番号	—	(うち市費) 39,450 円

事業の概要

■ 事業内容

本県が推進している「自転車新文化」について、これまで基礎づくりが中心であった取組みを深化させ、より大きな消費行動が期待できる一般層（ファミリー層）まで裾野を拡大するとともに、国内外からの誘客による交流人口の増加を図ることで、将来的には国内外で「サイクリングパラダイス愛媛」の認知度を向上させ、地域経済の活性化につなげる。

■ 事業費内訳

- 観光協会運営事業（本会）
- （主な事業経費）
- パーク
- イベント負担金

金額（円）  
78,900

事業の実績・取組状況

■ 本事業における重要業績評価指数（KPI）

	指標値(H29.3)	H29.3時点	達成率
① 観光入込客数（総数・千人）（平成27年：27,085千人）	+383千人	+370千人	96.6%
② 観光客消費額（億円）（平成27年：1,101億円）	+19.8億円	+6億円	30.3%
③ サイクリングガイドの養成人数（人）	20人	21人	105.0%
④			

■ 取組内容

- 初級者向けの自転車講習会
- 専門家による機材のセッティング
- アクシデントに対応できるスキルアップ
- 快適な自転車ライフをおくれるサポート

■ 写真等

① 開会風景



② 指導風景



■ 今後の事業方針

①追加等更に発展させる（拡充）	—
②事業内容の見直し（改善）	—
③事業の継続（現行）	○
④事業の中止	—
⑤予定通り事業終了	—

■ 事業方針の理由

サイクリングや自転車関連事業に対して関心が高まってきている現状を踏まえて、今年度も実施予定。

事業評価

①地方創生に非常に効果的であった	—	①総合戦略のKPI達成に有効であった	○
②地方創生に相当程度効果があった	—		
③地方創生に効果があった	○	②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	—
④地方創生に効果がなかった	—		

■ 外部有識者からの意見

- ・ サイクリングや観光は人が動くため、地域の活性化につながるとされる。観光協会に安全を確保できる市内コースを提案しているところである。
- ・ 事業を市民や観光客の目に見える範囲で実施していただきたい。